

清掃業務標準仕様

(門別出張所)

作業項目					作業内容	建物内部の清掃							建物周囲の清掃		
						事務室	会議室	玄関 ホール	個室	廊下	便所・ 洗面所	湯沸室	玄関廻り	犬走り	
日常清掃	床	弾性床	除塵	自在箒又はフロアダスターによる除塵	隅は自在箒、広い場所はフロアダスター又は自在箒で掃き、集めたごみは所定の場所に搬出する。	1/日	2/週	1/日	2/週	1/2日		1/日			
			水拭き	部分水拭き	汚れの目立つ部分は、モップで水拭きをする。	1/日	2/週	1/日	2/週	1/2日					
				全面水拭き	床全面をモップで水拭きをする。						1/日				
		硬質床	除塵	自在箒又はフロアダスターによる除塵	隅は自在箒、広い場所はフロアダスター又は自在箒で掃き、集めたごみは所定の場所に搬出する。			1/日			1/日				
			水拭き	部分水拭き	汚れの目立つ部分は、モップで水拭きをする。			1/日							
				全面水拭き	床全面をモップで水拭きをする。					1/日					
		繊維床	除塵	真空掃除機による除塵	真空掃除機で吸塵する。		2/週		2/週						
		フロアマット	除塵	真空掃除機による除塵	真空掃除機で吸塵する。			1/日							
	床以外	扉ガラス	部分拭き	汚れの目立つ部分は、タオルで水拭き又は乾拭きする。			1/日								
		什器備品	除塵	タオル、ダストクロス等で埃をとる。			1/日								
		ごみ箱	ごみ収集	ごみを収集し、容器の外面で汚れた部分は、タオルで水拭き及び乾拭きをする。	1/日	2/週	1/日	2/週	1/2日	1/日					
		金属部分	除塵	タオル、ダストクロス等で埃をとる。			1/日								
		扉・便所面台のへだて	部分拭き	汚れた部分は、水拭き又は適正洗剤を用いて拭く。						1/日					
		洗面台及び水栓	拭き	スポンジで適正洗剤を塗布し、洗浄のうえ、タオルで拭く。						1/日					
		鏡	拭き	適正洗剤を用いて乾拭きする。						1/日					
		衛生陶器	洗浄	適正洗剤を用いて洗浄し、拭く。						1/日					
		衛生消耗品	補充	トイレットペーパー、水石鹸等を補充する。						1/日					
		汚物容器	汚物収集	内容物を収集し、容器の外面で汚れた部分は、タオルで水拭き及び乾拭きする。						1/日					
		流し台	洗浄	中性洗剤を用いてスポンジたわしで丁寧に洗浄し、タオルで拭く。							1/日				
厨芥容器	厨芥収集	厨芥を収集する。容器を適正洗剤で洗浄する。							1/日						
建物周囲 床	床	除塵	自在箒で掃き、集めたごみは所定の場所に搬出する。								1/日				
		水拭き	汚れの目立つ部分をモップで水拭きする。								1/日				
		拾い掃き	巡回して粗ごみを拾う。										1/日		
ごみ収集		中継所から集積所までの運搬		ごみ中継所に集められたごみは、区別して集積所まで運搬する。	1/日	2/週	1/日	2/週	1/2日	1/日	1/日				
		梱包		集められてたごみは、適量分量に梱包する。	1/日	2/週	1/日	2/週	1/2日	1/日	1/日				
定期清掃	床	弾性床	洗浄	表面洗浄	※１のとおり （９月）	1/年	1/年	1/年	1/年	1/年		1/年			
				剥離洗浄	※２のとおり （３月）	1/年	1/年	1/年	1/年	1/年		1/年			
	建物周囲 床	床	洗浄	洗浄用ブラシを装着した床磨き機で汚れを洗浄する。									2/年		

※１、※２ 共通作業

- (１) 椅子等軽微な什器の移動を行う。
なお、洗浄水の進入の恐れのあるコンセント等は、適正な養生を行う。
- (２) 床面の除塵を行う。除塵作業は、隅は真空掃除機又は自在箒、広い場所はフロアダスター又は自在箒で掃き、集めたごみは所定の場所に搬出する。
- (３) 下記、※１、※２、※３のとおり
- (４) 移動した椅子等軽微な什器を元の位置に戻す。

※１（表面洗浄：弾性床）

共通作業の（３）に係る作業内容

- ア) 床面に適正に希釈した表面洗浄用洗剤をむらのないように塗布する。
- イ) 洗浄用パッド（赤）を装着した床磨き機で、皮膜表面の汚れを洗浄する。
- ウ) 吸水用真空掃除機又は床用スクイジーで汚水を除去する。
- エ) ２回以上水拭きを行い、汚水や洗剤分を除去した後、十分に乾燥させる。
なお、水拭き作業は、床全面をモップで水拭きをすることにより行う。
- オ) 樹脂床維持剤を、塗り残しや塗りむらのないように格子塗りし、十分に乾燥する。
なお、樹脂床維持剤の塗布回数は、原則として１回（格子塗り）とする。

※２（剥離洗浄：弾性床・硬質床）

共通作業の（３）に係る作業内容

- ア) 剥離用パッド（黒）を装着した床磨き機で洗浄する。
- イ) 吸水用真空掃除機又は床用スクイジーで汚水を除去する。
- ウ) 剥離状況を点検し、不十分な箇所がある場合は、再度剥離作業を行う。
- エ) 床材表面を中和するため、床磨き機で水洗いを行う。
- オ) 吸水用真空掃除機又は床用スクイジーで汚水を除去する。
- カ) ３回以上水拭きを行って、汚水や剥離剤を除去した後、十分に乾燥させる。
なお、水拭き作業は、床全面をモップで水拭きをすることにより行う。
- キ) 樹脂床維持剤をモップで、塗り残しや塗りむらのないように格子塗りし、十分に乾燥した後塗り重ねる。
なお、樹脂床維持剤の塗布回数は、原則として３回（格子塗り）とする。